

# わんぱく学園ニュース

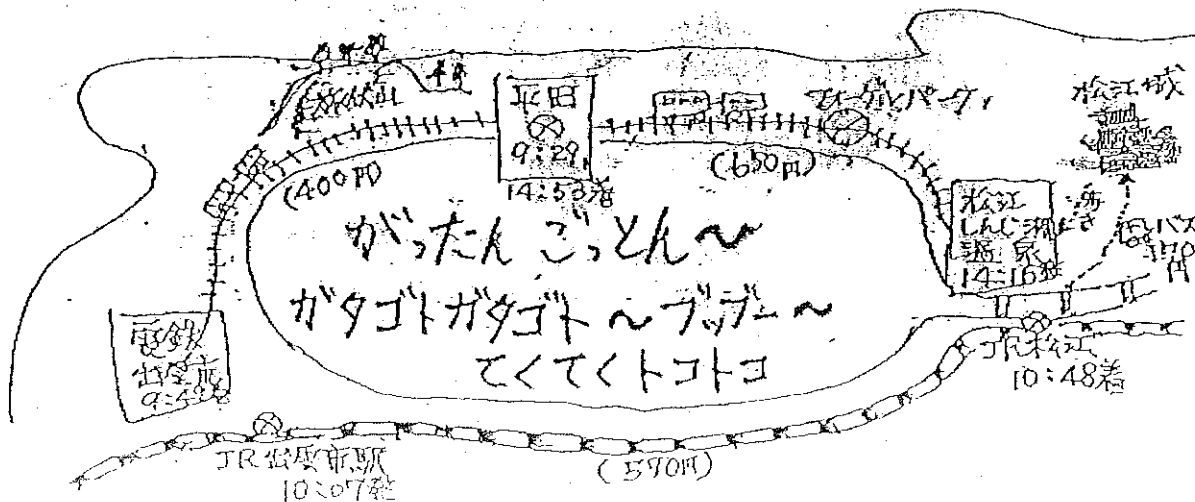
平成16年 12月号 No109

師走……我が家の敷地内に高い空に届くかのように真っすぐにのびたイチョウの木。その黄色く色づいた葉の姿とは対称的に、小春日和が続いたからでしょうか？温暖化の影響でしょうか？核の木にはぎしりと小花がついて時季はずれの花見となり、秋と春を一緒に楽しませてくれています。

さて、先月11月13日私はロザンナさんの講演を聴く機会を得ました。「2歳半の時小児マヒにかかり、その大病を克服出来たのも母が我が子が持っている色を大切に愛してくれたから頑張れた。何事も自分の目・足で確かめ、チャンスがきたら自分でつかみとりたい。私も3人の親になり、母の子育てを思い出しながら日々を過ごした。落ち込んで答えが出ない時支えてくれたのは我が子。子どもは大人以上に正しいことをくれる。子どもが何かチャレンジしようとした時、信じて背中をぐんと押しやるが、決して最後まで頑張らせなくてもいい。悲しいことや辛いこともあったが、今は幸せ！時間が和げてくれるし、解決してくれる」と。

ここで11月に楽しんだ「わんぱく学園」の遊びのひとこまを紹介します。

## ★大旅行～宍道湖一周



今年は昨年よりひと月遅く11月21日企画した大旅行。早朝の雨にわんぱく学園のみんなの思いが届いたのか、出発する頃には爽やかな秋晴れに恵まれ、37名は宍道湖一周を楽しみました。

### ☺ “ガッタンゴットン” ～ 知電車

〈平田発9:29→電鉄出雲市着9:49〉 (類:丸400円)

「みて！旅伏山お化粧しとーよ！」「ススキ綿菓子みたあ〜い！」  
「黄緑のじゅうたんだあ〜」(前線は霧の境隈見)  
のどかな山や田園のパノラマに「えとこたが〜」と思わずつぶやき合っていた子どもたち。この恵み豊かな自然の美しい環境の中で育っている幸せを実感しているかのようでした。

### ☺ “ガタゴトガタゴト” ～ JR快速アクアライナー

〈JR出雲市発10:07→JR松江駅着10:48〉 (類:丸570円)

「神立橋は3つあーが？…北神立橋…南神立橋…神立橋…」  
「宍道湖って広いがぁ〜カモさんも遠足しちょうみたい」  
「僕んちの近くのおじさん しじみやアマサギのことよー知っ  
とらいけん!! アマサギ とれんどぁ〜昔 いっぱいいたと」  
「だけん ゴミ拾いさんとねえー」  
「あっ！美術館だ(嘘) あそこで来年は 作品展すーがぁー」  
自分たちが住んでいる地域や自然のことをよく知っている子どもたちです。学校や家庭・地域の人たちから学んでいるからでしょう。アマサギの不漁が続いていることも知っているのには驚きました。そして、わんぱく学園の子どもたちは、自分たちが暮らしている地域の自然を守り、住みやすくきれいにするためには、どのような事をしたら良いのかにも気づいています。  
私たち大人は、そのほのほのとした会話やつぶやきを、ただ笑って温かく抱きとめる広く柔らかな心で受けとめれば…

バスに乗るまで少し時間がありました。「みんなトイレに行きましょう!!」と自分たちで声をかけあっていた姿に、たのもしくさえ感じ、また意年齢で学び育ち合う機会をもつ事の大切さも改めて思いました。

🚗 “ブッブー”～市営バス～城山  
(JR松江駅発11:20→県庁前下車→松江城着) (積:規170円)

今年も松江城のあの樹齢(観)350年のでっかいクスノキが、わんぱく学園のみんなを待っていてくれました。

「よー来たね！ まーじ今年は多人数で…」3歳からおじいちゃんまでのぞろぞろ大部隊に大歓迎しているかのようでした。

城山の広場で、さっそく手作り弁当に舌つづみ…  
致物を忘れた人がいれば「どうぞ！ よかったら…」  
お弁当を忘れた人がいれば「このおにぎり、食べる？ まかったらね」と、お互いに声を掛け合い、譲り合い・思いやる心があちこちに。  
参加者それぞれが、それぞれに、さりげなく振る舞えるなんて。

弁当を食べ終えた子どもたちは、鬼ごっこをしたり走り回ったり。

出発時間30分前のこと。

「お城にのぼってみたい人は券を買って下さ〜い」6年生のお姉さんの声に、そろそろと僕も私も…

その姿を見守っていたお父さんの話しかけて、自分たちだけでは時計もないし不安に思ったのでしょう。「大丈夫かな？ 自分たちだけでのぼれるかな？」と心ひそかに思っていた私に

「一緒にのぼってくれませんか？」と言ってくれました。

そのお父さんのように子どもの言動をじっと見守り、タイミング良く気付かせるような言葉かけで立ち止まらせ、自分たちで考える時間を時にはもたせることも、子育てする上でとても大切なことのように思いました。

みなさん！松江城の一階から四階の各階の間に設けられた階段の数をご存知ですか？

何と、数えてみたら87段ありましたよ。

🚗 “てくてくととこ”～松江しんじ湖温泉駅  
(松江城発13:30→松江しんじ湖温泉駅着13:55)

心の中や身体・足の大きさ・長さなどそれぞれ違う37人は37通りのペースで歩きました。3歳のお子さんも友達と可愛い手と手をしっかりつなぎ、自分の足で首をふりふり楽しそうに歩き通しましたよ。その姿をそっ〜と見守っていたお母さんのあの笑顔のまぶしかったこと。我が子や我が孫のリズムに添う事の大切さを心得ていらした、お父さん・お母さん・おじいちゃんに“さすが！”と嬉しく思いました。  
一番後ろでのそのそと歩いていた私、いつもは車で通る道。その道や街の様子が何故か新鮮に移ったのは、どうしてだったでしょうねえ？。

駅に着いたみんなは、待ち時間を利用し駅前の足湯へと。L字形で15人も並べば満員御礼になりました。

「はだしの付き合いってのも、いいもんだね!!」いい所にいいものが出来たなあと、つくづく思った次第です。

🚗 “ゴットンゴットン”～<sup>サハ</sup>加電車  
(松江しんじ湖温泉駅発14:16→平田駅着14:53) (積:650円)

「宍道湖 ピカピカ光っちょー！ ダイヤみたい！」  
「あれっ！また松江へ行くの？」(加電から電車が離れる)

5時間余りに及ぶ長旅に、37人誰もが疲れを見せず、そして大きな事故や怪我もなく無事楽しく終えることが出来たことに、何よりも嬉しく思いました。

今年は、昨年逆まわりの宍道湖一周。

昨年気がつかないことを知ったり、また小さな失敗をしたり、認め合ったり…。それを一つのステップに自分流で歩み、勇気をもって支え合うわんぱく学園の子どもたちに教えられた一日でした。

ゆっくり、ゆったり、のんびり歩むことの大切さも学んだ私。  
心も身体も ごっとおちらとすーことは、何とえことですからかあ〜。

## 「母からのメッセージ」

矢道湖一周に参加させていただきました。「参加します」と返事はしたものの私には、大きな不安がありました。電車や汽車やバスに乗ったり、人がたくさんいる駅を歩いたりしなければいけません。それに天気も余りよくないようです。

航太は、①待つことが苦手 ②歩いていて人とすれちがった時に体が触れそうになっただけで、自分の邪魔をされたと思って「どいで～!!」と大きな声を出す ③空が曇ってきたり雨が降るとパニックになるなど考えただけでため息が…複雑な気持ちの中その日になってしまいました。

平田の駅でなかなか電車が来ないので、そろそろ大きな声が出ていたのに「なかなか来ないねえ…」と冷静です。電車が来て降りる人を待たずに乗るはずなのに、きちんと待っています。

「アレッ!?」「どうして?…」

松江の駅で人とすれちがう時、ハテハテして見ていたのにスムーズに通過してバスに乗りました。松江城では私と一緒にじゃないと絶対お城の中に入らないと思っていたのに、私を残して先生方と行ってしまいました!?!。途中で雨が降ってもカッパを着るとパニックにもなりません。苦手なことがたくさんあったはずなのに…確かにパニックになりかけたこともあったのですが、タイミングよく先生が航太に声をかけて下さって、自分の気持ちを受け入れてもらえたようで最後まで楽しく過ごすことができました。

以前読んだ本の中にこんなことが書いてありました。

航太のような子は自分の小さな世界のルールがあるそうです。そのルールは私たちの世界のルールとはちょっと違っているけど、ちゃんと筋道があるそうです。今回は私たちの世界に合わせさせるのではなく、航太の世界と一緒に参加された皆さんが認めて下さったから、最後まで楽しく過ごせたと思います。

この経験は、いつもの生活では見られない航太の姿を見る機会となり、航太にとって、そして私にとっても大きな自信となりました。ありがとうございました。(～航太の母～)

## ★沖縄大会に参加して

第53回全日本手をつなぐ育成会全国大会が今年度は沖縄県で行われました。

全国より3000名余りの本人と保護者、関係者が一堂に会し「南の邦から 障害者福祉に新しい風を～ウマンチュ(万人)と共に」をスローガンに、障害者福祉の諸課題について熱い意見交換がなされました。

障害者の社会参加・ノーマライゼーションの一層の推進に向け、私たちがまず手を取り合い、誰もが地域で当たり前安心して暮らせる街づくりへの実現へと歩んでいきたいと再確認し合った3日間でした。

第3分科会では、本人の「就労したい」をどう実現するかというテーマのもと、「一般就労」「福祉就労」「ジョブコーチ(職場適応援助者)制度」等についての討議に熱が入りました。国は本年5カ年計画「障害者プラン」で施設型から地域共生型へと転換したのは皆さんもよくご存知と思います。島根県が策定した障害者計画「はつらつプラン」にもそのことがうたってありますね。しかし地域に就労する場がないのが悲しい現実です。障害者白書によると、公共職業安定所(ハローワーク)における就業件数は、働きたいと思っている人が88千余りいるが実際就職している人は32千余りとか。本県の障害者雇用環境もまだまだといった状況のようです。この不況で障害者が一番影響されるのが現実です。

私は、障害者の自立には就職出来る事が欠かせないものだと考えています。従業員の1.8%以上の雇用を義務づけてあるが、基準を満たしている企業が果たしてどれ程あるのでしょうか?行政がしてくれるということのみに甘えず、障害者・その家族が問題課題を解決していくことが大切だと思います。その為には地域を可能な限り耕し、ネットワークをつくり働く場をつくること。どこか翼を休めていく場所を…。親なき後ではなく、親あるうちに。彼らのあの優しさが誰にも必要とされるべきを…。

たまたま目にした記事。3/21付山陰中央新報論説欄・10/20付朝日新聞社説欄にもこれらの事が取り上げられていた事に、嬉しく思いました。又昨年6/8付、山陰中央新報のコラム(竹)にヤマト運輸小倉昌男会長が障害者の収入確保や自立支援を目的に始められたスワンベカリーについてふれられた記事にも元気をいただきました。

♡ 12月号が遅くなっておめんなさい！

◇ 12月の「わんぱく学園」メニューは、下記の通りです。

12月 5日	クリスマス会(平田小通級指導教室共催) 場所・平田市子育て支援センター(和歌山県和歌山市) 曜 9:30~14:00 会費1000円(おやつ代・お茶代など) 担当・原幸枝姓(TEL:63-5222・FAX:72-0452)
12日	温泉でのんびり(一年の疲れを癒そうね) 入場料500円準備して来てね おやつ・飲み物は学園で準備します 担当・福田稔姓・土江和世
19日	クリスマスにちなんだ絵・工作遊びしようかぁ ミチル喫茶も楽しみ♪ 担当・植野良樹識媛(TEL:71-3171)
26日	粘土コネコネして あ〜そほ！ おひげがやたらと伸びてきて合併鍋パーティー！ 担当・安食ひろ様 場所・和歌山県和歌山市「おちらと」(和歌山県和歌山市) ※TEL:71-3171「おちらと」へ直接いらしてもいいですよ

# 集合時間 9時20分・集合場所 光入塾前駐車場↓

今年、さる年。

余りにも天地異変——雨による被害、猛暑、熊さんの出没、早期からの数々の台風、あちこちの地震など々。

予期もしないことが多くあった一年。

そんな中で、わんぱく学園のみんなは、共々に手を取り合って過ごし、ボチボチと頑張った一年であったように思います。これも一重に保護者の皆様、多くの方からのご協力ご支援あつてのことと感謝いたします。

来年は、とり年

それぞれの色を大切にしながら羽ばたけたらいいですね！

〈学園の問い合わせ 土江(62-2667)〉 [文責 土江和世]